

第2回 横浜市戸塚スポーツセンター指定管理者選定委員会議事録

日 時	平成27年8月21日（金）12時50分～15時
開催場所	戸塚区役所8階 中会議室2
出席者	波多腰委員長、市川委員、柴田委員、田中委員、引間委員 区）地域振興課長 高嶋 区民利用施設担当係長 加藤、栗原、古尾谷 局）政策局共創推進課 辻
欠席者	なし
開催形態	公開（傍聴者0人） 審議については、非公開
議 題	1 定足数確認 2 申請団体によるプレゼンテーション及び質疑応答 3 審議
決定事項	1 定足数の確認 委員全員が出席のため、委員会は成立 2 横浜市戸塚スポーツセンター指定管理者の候補者について 最低評価基準の7割以上を超えたことを確認し、「公益財団法人 横浜市体育協会」を指定管理候補者として区長に報告をする。
質疑応答	「BSC・SF S共同事業体」によるプレゼンテーション10分を実施 【質疑応答】 委員）貧困家庭を対象のスポーツ教室を提案しているが、一般家庭の子とは別か。 団体）一緒に楽しんでもらえる教室などを考えている。 委員）横浜独自のさわやかスポーツのことは知っているか。 団体）聞いたことはあるが内容はまだ把握していない。 委員）保険料が少ないが何の保険に加入するのか。この保険で補えない事故の補償はどんなことを考えているか。 団体）傷害保険も含まれる保険に加入する。起こりうる事故が網羅できると考えている。 委員）自主事業で時間外を増やし、利益率を高く見積もっているが、具体的にどのようなことを考えているか。 団体）利用者の増や人件費の圧縮を想定している。 委員）こどもの用具無料貸し出しはいいことだが、どこから費用を捻出するのか。また学校の授業での利用と一般利用のスポーツ教室との兼ね合いはどう考えているのか。 団体）用具はスポーツ教室を実施しているので、子どもの人数にもよるが可能。学校利用は平日日数を増やして放課後時間に設定。土日は一般利用と考えている。体育館については半面利用など工夫をしながら活用したい。空スペースを整理しながら、レク、スポーツ教室を安全にできるように有効活用したいと考えている。

委員) 空スペースは見学したか。具体的に考えているか。

団体) 見学した。具体的に考えている。

委員) 40歳代と子どもに特化しているように感じるが、地域性を考えると高齢者向けにもっと提案があってもよいと期待している。例えば食事面などの企画もあってもよいのでは。

団体) 小田原にある県の施設でシルバー向けの教室を開催している。その他のシルバー向けの実績はないが、協力団体と協力して実施したい。また、出版部門があり、他の地域では、65歳以上を対象とした冊子を発行している。それと連動した活動も考えられる。

委員) 卓球の伊藤選手も貴団体の所属か

団体) 所属選手ではある。確約はできないがスポーツ教室の開催等は可能かもしれない。

「横浜市体育協会」によるプレゼンテーション10分を実施

**【質疑応答】**

委員) 体育協会から、はまっ子やキッズに出向いているようだが、どのような方法なのか。

団体) 地域連携の担当がおり、定期のチーフ会等に出向き、伺うようにしている。

委員) 安全管理や風水害のことも考えられていて、地域をよく理解した提案である。

委員) 柏尾川の氾濫時はどうしているのか。

団体) 台風時は近隣の方の避難対応をしている。

委員) 平成29年度は、つり天井の修繕で第1と第2体育室に閉鎖期間があるが、自主事業の利用者数は変わらず見込んでいる。教室は同じように開催できるか。

団体) 教室は第3体育室で実施しているので影響はない。

委員) 保険料の内訳は。個人個人に掛けるのは一般的なのか。

団体) スポーツレクリエーション保険と施設賠償保険に加入。スポーツレクリエーション保険は個人個人にかけており、9万人を想定している。種目によって1人当たりの金額は様々。施設の関係での事故等には施設賠償保険で対応する。

委員) 体育館以外、ほかに大きな修繕はないか。

団体) 今のところ、お客様に影響がある修繕はつり天井だけ。

委員) 遊水池の利用提案があるが、芝をこんなにきれいに保てるのか。

団体) 芝刈り年2回とその他 Deng 熱対策で職員が草刈りをする予定。

委員) スラックラインとはどんなものか。

団体) 子どもの体力向上を目的とした幅広いスポーツ綱渡りのようなもの。人気の種目である。

	<p>委員) スラックラインは個人利用でもできるのか。</p> <p>団体) 安全管理に気を付けて行っていきたい。</p> <p>委員) どのように広報・普及をしていくのか。</p> <p>団体) 所長が地域に出向き、話をしていく。また、近隣のケアプラザ職員を対象とした見学会を実施する。スポーツセンターに来られない方への獲得策も検討する。SNS等を利用して、スポーツに興味を持ってもらえるように、来館できないお客様にも情報を発信していきたい。</p> <p>委員) 障害がある方の教室がないようだが、今後実施するのか。</p> <p>団体) 高齢者の介護予防教室などは実施している。イベントを増やしていきたい。ラ・ポールやケアプラザと連携して個別支援の児童の受入もしている。トレーニング室は障害がある方も個人利用で利用している。看板を視覚的にわかりやすくする工夫をしていきたい。</p> <p>委員) 外国籍の利用者に向けて、どのような取り組みをしているか。</p> <p>団体) トレーニング室を中心に利用されている。英語、中国語、ハンガール語などを表記している。パンフレットも英語表記をしている。</p>
特記事項	